

被災自治体への技術支援 ～災害緊急調査～【福岡県 (R5.7.26～28)】

○国土交通省の災害査定官が速やかに被災箇所へ赴き、被災自治体に対して、災害復旧の迅速化に向けた復旧方針・工法等の技術的支援・助言を実施
 ○要請のあった福岡県において、計7箇所(県管理施設7箇所)の災害緊急調査を実施



一級河川 高良川(久留米市)



一級河川 大肥川(東峰村)



一級河川 黒川(朝倉市)



一級河川 大山川(朝倉市)

■災害査定官による主な助言内容

【7月26日(水)／1日目】

- 一級河川 筑後川水系 高良川(久留米市高良内町)
 - 被災メカニズムを整理し、護岸天端からの洗掘を防止する必要がある箇所は天端保護工の設置を検討すること。
 - 護岸基礎が流出している箇所は、基礎前面へ袋詰玉石を設置するなど、欠壊防止の応急工事を検討すること。
 - 欠壊防止のため、大型土のうを設置する際には、背面に吸い出し防止材を設置するなど適切に実施すること。

【7月27日(木)／2日目】

- 一級河川 筑後川水系 大肥川(東峰村福井～小石原鼓)
 - 河床低下が発生しているため、被災水位を確認・整理すること。
 - 河床低下が著しいので、落差工や帯工等を新設して河床低下等の防止を検討すること。
 - 兼用道路に甚大な被害をあたえるおそれ大きいため、欠壊防止の応急工事を検討すること。
 - 径の大きい石は過度に撤去せず、河床に残すこと。
- 一級河川 筑後川水系 佐田川、黒川、疣目川(朝倉市佐田～黒川)
 - 被災メカニズムを整理し、護岸天端からの洗掘を防止する必要がある箇所は、天端保護工の設置を検討すること。
 - 河道が著しく埋塞しており、次期出水で甚大な被害が発生するおそれがあるため、早急に土砂撤去すること。
 - 再度災害防止を目的に、狭窄部や屈曲部を是正することが可能である災害関連事業も検討すること。

【7月28日(金)／3日目】

- 一級河川 筑後川水系 妙見川(朝倉市菱野)
 - 護岸の倒れ方の違いから、河床洗掘や護岸背面の土砂流出など複数の要因が考えられるため、被災メカニズムを整理し、被災原因の除去となるよう対策を検討すること。
 - 欠壊防止のため、背面土砂が流出した箇所は碎石等を投入し、基礎前面に袋詰玉石を設置するなどの対応を検討すること。
- 一級河川 筑後川水系 大山川(朝倉市杷木大山)
 - 巨石により河道が著しく閉塞しており、次期出水で甚大な被害の恐れが大きいので、早急に撤去すること。
 - 護岸基礎が流出し、背後施設に甚大な被害のおそれがあることから早急に応急対策を検討すること。

